

歯内療法とは？

「歯内療法(シナイリヨウホウ)」とは文字通り「歯の内部の治療」のことで、主に歯の根の中の管(根管)に関する治療のことを言います。

歯の中には、歯髄(神経)という軟らかい組織があり、根の先の小さな穴であるこの骨の中の神経や血管と繋がっています。この歯髄が、むし歯や外傷で細菌の感染を受けると、歯が痛んだり、歯肉が腫れたりします。このような時に、歯髄(神経)を除去して歯を残すために、歯内療法が行われます。

歯をなんとか残そうと努力するのが神経の治療、すなわち歯内療法です。

まず、むし歯の進行はC0からC4までの5段階！

C0(図1)

溝に着色程度。歯面清掃を徹底して経過観察でOK。定期的な診査を受けましょう。

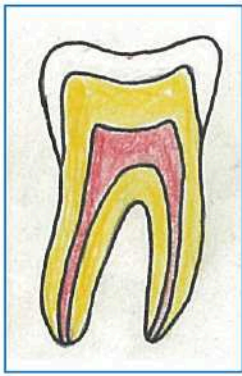


図1

C1(図2,3)

歯の表面のエナメル質だけがむし歯になって痛みはありません。ごく初期なので、むし歯部分だけを削って、穴を詰めて治療をします。

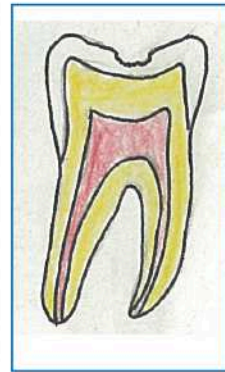


図2

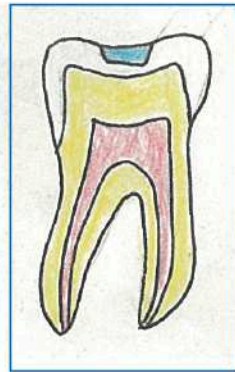


図3

C2(図4,5)

歯のエナメル質をやぶり、その下にある象牙質にまで進行した状態です。この状態になると、痛んだり凍みたりすることもあります。むし歯の部位や大きさによって金属や樹脂の材料などを使い分け、詰め物で治療をします。



図4

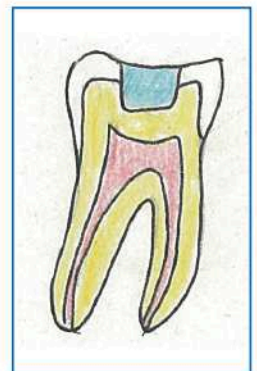


図5

C3(図6,7)

むし歯が歯の神経に達し炎症が起き、いつも痛むようになります。ここから先が歯内療法の分野です。出来るだけ神経を抜かない努力をします。歯質の残っている状態により修復の方法は異なりますが、できるだけ歯を残すために、根管治療をして神経のあった穴を完全に封鎖し、割れないために咬む面は保護します。

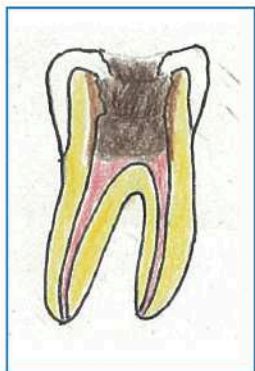


図6

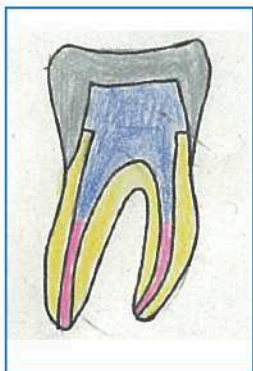


図7

C4(図8,9)

むし歯が最も進行した状態です。歯の根の部分だけが残って歯髄は腐敗しています。痛みが出たり腫れたりします。健康な歯質がある程度残り、歯根の長さが十分ある場合は、出来るだけ残す努力をします。根管治療をして神経のあった穴を完全に封鎖し、歯の形態を回復して被せ物を作ります。

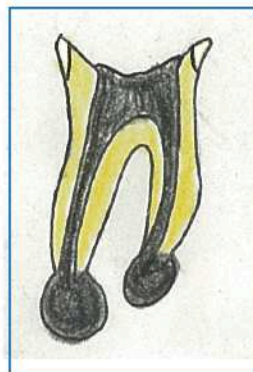


図8



図9

よくあるご質問

Q1. あとどのくらいかかるの？

A. 根管治療では根管内の細菌を取り除く治療を行います。しかし歯の根管は